

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 23 年 7 月 21 日 (2011.7.21)

【公開番号】特開 2009-294381 (P2009-294381A)
 【公開日】平成 21 年 12 月 17 日 (2009.12.17)
 【年通号数】公開・登録公報 2009-050
 【出願番号】特願 2008-147068 (P2008-147068)
 【国際特許分類】

G 0 3 G 15/01 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/01 S

G 0 3 G 15/01 1 1 2 A

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 6 月 2 日 (2011.6.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の色の潜像を形成するための複数の感光体上に潜像を形成するための光ビームを出射する複数の光源と、前記光ビームが前記感光体上を主走査方向に移動するように前記光ビームを偏向する偏向手段と、前記複数の感光体とを有する画像形成装置のための画像データを生成する画像処理装置であって、

前記感光体上に前記光ビームによって前記主走査方向に描かれる走査線の副走査方向への湾曲に応じて、注目画素の画像データの走査ラインを他の走査ラインに変更するとともに、該注目画素の画像データを前記副走査方向における該注目画素の隣接画素の画像データを用いて修正する修正手段と、

多色画像を形成するか単色画像を形成するかを判定する判定手段と、

前記判定手段によって前記多色画像を形成すると判定された場合には前記修正手段を機能させ、前記判定手段によって前記単色画像を形成すると判定された場合には前記修正手段を機能させないように制御する制御手段とを有することを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】

前記判定手段は、ページごとに、多色画像を形成するか単色画像を形成するかを判定し、前記制御手段は、前記ページごとの判定結果に基づき前記修正手段を制御することを特徴とする請求項 1 記載の画像処理装置。

【請求項 3】

さらに、画像データの走査ラインを他の走査ラインに変更する画素の位置を表す乗り換え点の位置情報を保持する保持手段を有し、

前記修正手段は前記乗り換え点の位置情報に基づき、前記注目画素の画像データの走査ラインを他の走査ラインに変更し、該注目画素の画像データの位置情報と前記乗り換え点の位置情報に応じた補正係数を用いて、該注目画素の画像データと前記副走査方向における該注目画素の隣接画素の画像データとの重みづけ処理を行うことを特徴とする請求項 1 または 2 記載の画像処理装置。

【請求項 4】

複数の感光体と、

複数の色の潜像を形成するための前記複数の感光体上に潜像を形成するための光ビーム

を出射する複数の光源と、

前記光ビームが前記感光体上を主走査方向に移動するように前記光ビームを偏向する偏向手段と、

前記感光体上に前記光ビームによって前記主走査方向に描かれる走査線の副走査方向への湾曲に応じて、注目画素の画像データの走査ラインを変更するとともに、該注目画素の画像データを前記副走査方向における該注目画素の隣接画素の画像データを用いて修正する修正手段と、

多色画像を形成するか単色画像を形成するかを判定する判定手段と、

前記判定手段によって前記多色画像を形成すると判定された場合には前記修正手段を機能させ、前記判定手段によって前記単色画像を形成すると判定された場合には前記修正手段を機能させないように制御する制御手段とを有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 5】

複数の色の潜像を形成するための複数の感光体上に潜像を形成するための光ビームを出射する複数の光源と、前記光ビームが前記感光体上を主走査方向に移動するように前記光ビームを偏向する偏向手段と、前記複数の感光体とを有する画像形成装置のための画像データを生成する画像処理方法であって、

前記感光体上に前記光ビームによって前記主走査方向に描かれる走査線の副走査方向への湾曲に応じて、注目画素の画像データの走査ラインを他の走査ラインに変更するとともに、該注目画素の画像データを前記副走査方向における該注目画素の隣接画素の画像データを用いて、修正手段が、修正する修正工程と、

多色画像を形成するか単色画像を形成するかを、判定手段が、判定する判定工程と、

前記判定手段によって前記多色画像を形成すると判定された場合には前記修正手段を機能させ、前記判定手段によって前記単色画像を形成すると判定された場合には前記修正手段を機能させないように、制御手段が、制御する制御工程とを有することを特徴とする画像処理方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

本発明によれば、複数の色の潜像を形成するための複数の感光体上に潜像を形成するための光ビームを出射する複数の光源と、前記光ビームが前記感光体上を主走査方向に移動するように前記光ビームを偏向する偏向手段と、前記複数の感光体とを有する画像形成装置のための画像データを生成する画像処理装置であって、

前記感光体上に前記光ビームによって前記主走査方向に描かれる走査線の副走査方向への湾曲に応じて、注目画素の画像データの走査ラインを他の走査ラインに変更するとともに、該注目画素の画像データを前記副走査方向における該注目画素の隣接画素の画像データを用いて修正する修正手段と、

多色画像を形成するか単色画像を形成するかを判定する判定手段と、

前記判定手段によって前記多色画像を形成すると判定された場合には前記修正手段を機能させ、前記判定手段によって前記単色画像を形成すると判定された場合には前記修正手段を機能させないように制御する制御手段とを有することを特徴とする画像処理装置が提供される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】画像処理装置、画像形成装置および画像処理方法